

第102回 全国図書館大会 東京大会 第13分科会（利用教育）

2016年10月16日（日）13:30～17:00

青山学院大学 青山キャンパス 17号館 17509教室

館種を超えた情報リテラシー教育の枠組みづくりに向けて

—先駆的事例から考える図書館の新しい役割—

趣 旨

当分科会の企画・運営にあたる日本図書館協会図書館利用教育委員会では現在、情報リテラシー教育に果たす役割を俯瞰的に提示する枠組みづくりを進めています。情報リテラシーは幼児期から高齢期まで生涯にわたる「社会を生き抜く力」です。近年、高大接続、キャリア教育、職場体験などをめぐって館種を超えた実践がみられます。そこで、情報リテラシー教育に対して図書館界全体として何ができるか、すべきかについて、当委員会委員を中心に話題提供や問題提起を行います。そして、参加された皆様の勤務館における事例や課題を共有する「場」を設定し、館種を超えた情報リテラシー教育の枠組みを共に考えます。

時 程

- | | |
|-------------|---|
| 13:30～13:50 | 開会挨拶／趣旨説明「館種を超えた情報リテラシー教育の枠組み—試（私）論を含めて—」
野末俊比古（青山学院大学教育人間科学部） |
| 13:50～14:40 | 講演「高大接続する学力—情報リテラシーのカギは問う力とレポートにあり!!—」
天野由貴（椋山女学園大学図書館） |
| 14:40～15:00 | 報告「小大連携の試みと『先生のための授業に役立つ学校図書館活用データベース』」
中山美由紀（東京学芸大学附属小金井小学校） |
| 15:00～15:15 | 休憩 |
| 15:15～15:45 | 報告「日本図書館協会で中堅ステップアップ研修(2)『情報リテラシー支援』を通して
公立図書館における情報リテラシー支援の課題を考える」
石川敬史（十文字学園女子大学） |
| 15:45～16:15 | 報告「公立図書館の実践事例集に見る情報リテラシー教育（支援）の取り組み」
春田和男（東京家政大学人文学部） |
| 16:15～16:45 | グループワーク「各館における情報リテラシー教育の実践をめぐって—図書館（界）の
役割と今後の方向性—（仮）」 |
| 16:45～17:00 | 総括／事務連絡／閉会挨拶 |
| 17:30～ | 懇親会（予定・希望者・会場近辺） |

※ プログラムは変更になる場合があります。

※ 参加される皆さまへお願い……勤務館での事例や課題を簡単にお話いただき、共有する場を設定いたします。積極的なご発言、ご協力をよろしくお願いいたします。

企画・運営

日本図書館協会図書館利用教育委員会 www.jla.or.jp/cue/ cue@jla.or.jp